

日本共産党松江市委員会機関紙

# 新しい松江

発行 日本共産党松江市委員会・松江市袖師町3-6 電話24-2456

## 防災・減災・福祉・暮らしまもる 希望ある政治を松江から 米兵の沖縄少女暴行事件に抗議

### 大平よしのぶさんを国会へ 中国ブロックひまわりキャラバンで訴え

19日、大平よしのぶ衆院中国比例候補を迎え、松江市の商店街で日本共産党島根県委員会が宣伝しました。大平氏



左から: たちばな市議、むらほ予定候補、大平元衆院議員、尾村県議、舟木市議

が中国地方を巡るひまわりキャラバンの一環です。尾村利成県議、むらほえりこ衆院島根一区予定候補、舟木健治、たちばなふみ両松江市議らが参加しました。

大平氏は、厚生労働省の調査で約6割の人が「生活が苦しい」と答えていることを紹介。4月の衆院補欠選挙で野党が勝利した島根から「自民党政治を一日も早く終わらせるため、今度は総選挙で日本共産党を大きく伸ばしてください」と強調しました。

むらほ氏は、9日からの大雨被害を受けて党議員団と党組織が現地調査し、寄せられた声を踏まえ、被災者生活再建支援や土砂災害、治水対策

などを県に申し入れたことを報告。「みなさんの元に駆け付け、困りごとに耳を傾けてきた大平よしのぶさんを比例で国会に押し上げてほしい」と訴えました。

### 米兵による少女暴行事件と隠ぺい許されない 沖縄に連帯し松江駅前抗議集会開く

7月17日松江市で、「米兵による少女・女性暴行事件・性暴力隠ぺい許さない!」抗議集会がJR松江駅前で開催されました。新日本婦人の会島根本部、島根県平和委員会、沖繩と連帯する島根の会がよびかけたものです。

昨年12月に米軍嘉手納基地所属の25才の空軍兵士が16歳未満の少女を誘拐して自宅で性的暴行を加えた事件は、同様の事件が5件起きていたにも関わらず日米政府が沖繩県に対して通知せず、半年も

隠ぺいしていたことが7月に発覚し抗議する声が全国で広がっています。

呼びかけ団体の平和委員会事務局長徳永和洋氏は「戦後、確認できただけで米兵の性犯罪は千件を超える。日常的に殺人訓練をくり返し、日米地位協定によって占領軍の特権を与えられている米軍基地の存在がその元凶。米軍に特権を与える日米地位協定の改定を」「政府による6カ月にわたる隠ぺいは、1月の辺野古・大浦湾埋め立て「代執行」、6月の県議会選挙などに影響を与えないようにするためであった可能性が濃厚」と指摘しました。

新婦人県本部の山崎泰子会長は岸田首相が事件を隠ぺいしたまま6月23日の沖繩全戦没者追悼式に出席していたと

その「戦雲」は、確実に、沖繩に基地を押し付けてのほほんとしている本土の私たちの上にもあるのです。それに気づいた方が、自分たちのためになると思います。

三上智恵監督作品『戦雲』の上映会にぜひお出かけください。

『戦雲』上映実行委員会 若槻 真治 (戦後史会議・松江)



いっさふむ

### 映画『戦雲』上映会のお知らせ

8月11日(日)  
①10時 ②14時  
市民活動センター  
sticビル5階ホール  
一般: 1000円  
大学生: 500円  
障がい者・介助者・  
高校生: 無料

「台湾有事」の名のもとに、沖繩県や鹿児島県の島々では、「敵基地攻撃」のためのミサイル基地や弾薬庫が次々と建設されています。軍事基地化に島民がいくら反対しても、米軍や政府、首長や議員の大きな声

にかき消され、基地建設は強引に進められてしまいました。はじめは「レーダー基地だけ」といういた与那国島にはミサイル基地が作られ、宮古島では集落のすぐそばに弾薬庫が作られました。

美しい、のんびりとした、独特な歴史や文化をもった南の島々は、今や軍事基地だらけの島に。これがこの何年間の、あつという間の出来事なので

島民は生活しなければなりませんから、漁に出て、作物を育て、牛を飼育する... 見何も変わらないように見えます。しかし「戦雲(いっさふむ)」に覆われているのです。



JR松江駅前の抗議集会の様子  
訴える新日本婦人の会山崎会長



平和委員会徳永氏、沖繩と連帯する島根の会  
中林佳子氏とたちばな市議ら

して「事件の隠蔽は、被害者少女の尊厳と、戦没者の御霊、そして基地負担と新たな戦争への不安を抱く県民や子どもたちの思いを踏みにじるもので許されない、女性である上川大臣は性暴力に対して怒ってほしい」と訴えました。

沖繩の会の中林佳子事務局長は「沖繩県民に連帯し、この島根から日米両政府、米軍に対して厳しい抗議の声を上げよう。基地のない平和な沖繩・日本をつくるために岸田政権を倒そう」と訴えました。

参加者が次々にマイクを握りリレートーク。「よりよつてプライバシー保護を理由に事件を隠ぺいしたことは許せない」「あきらめずに声をあげよう」と声を上げました。

島根大学関耕平教授は「自身も沖繩に11カ月滞在した。沖繩の現実には50年前の返還の頃と変わっていない。沖繩に心よせよう」と訴えました。

日本共産党たちばなふみ市議が参加し、「95年の米兵3人による少女暴行事件を思い出している。基地をなくすため皆さんと一緒にがんばる」と挨拶しました。